

地域おこし協力隊 活動記 Vol.78



中央：弘前医療福祉大学の学生さんがこの日の講師でした。人命救助への熱い思いを感じました。

左上：弘前市から配備されたコロナ禍の避難所で使用する簡易テント。家族単位で過ごすことができます。



左中央：避難所で具合の悪い方用の隔離場、段ボールベッドに横たわる消防団員の方。頑丈なベッドでした。

中央下：9月末に藍内で行われた弘前市主催の避難訓練。メディア陣が多く、改めて防災意識の高まりを感じました。



右上：防災マイスター講座、弘前医療福祉大学でのAED講習の様子。

右中央：コロナ禍では人工呼吸はせず、口に軽くハンカチを被せて胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施します。

こんにちは！ 協力隊の石田です。
 今回は弘前市が力を入れている防災についてお伝えします。私は昨年、「弘前市防災マイスター育成講座」を受講し、防災マイスターの認定を受けるとともに、防災士の資格も取得しました。
 昨年新しくなった防災マップによると、相馬地区は黒滝・安田・昴以外の町会内一部エリアで、土砂災害に警戒する必要があります。

【土砂災害の主な前兆現象】

- げげや地面にひび割れができる、げげや斜面から水が湧き出る。
- 井戸や川の水、湧き水が濁る、止まる。
- 小石がバラバラと落ちてくる、地鳴り・山鳴りがする。
- 降雨が続くのに川の水位が下がる。
- 樹木が傾く、立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

土砂災害警戒情報は青森県と青森地方気象台が共同で発表する情報で、弘前市HP、気象庁HP、内閣府HPなどで確認することが出来ます。警戒レベル4で全員避難完了、お年寄りなど、避難に時間のかかる方はレベル3が発令されたタイミングで避難を開始して下さい。

①災害に会った時に、家族で落ち合う避難所や避難経路を事前に話し合っておく、②非常食は食べ慣れたものや好きな味のものを準備しておく、③水は1人1日2リットル、最低でも3日分は買い溜めがあると安心。④その他、家族や季節に合った防災グッズを玄関の近くに準備しておくと思えます。

災害時、自分の命をいかに守るか、今一度ご家族で話し合ってみませんか。

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)

